

進捗報告書（実行団体）

事業名:	在留外国人コロナ緊急支援事業
資金分配団体:	NPO法人日越ともいき支援会
実行団体名:	NPO法人日越ともいき支援会
実施時期:	2021年5月～2021年9月
事業対象地域:	全国
事業対象者:	困窮在留ベトナム人

Version 1.2

日付: '021年09月30日

I. 事業概要

事業概要
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、住居・就労先・生活費を失った、困窮ベトナム人に対し、住居の確保・キャリア支援・日本語のプログラムの提供し生活支援を行うことで、再び日本で安全生活を送れるよう、在留資格の保持・環境の維持と貧困格差拡大の防止を目指す。

II. 進捗報告の概要

総括
全体として、想定活動を順次進めている。懸念点は、先日もご相談をさせて頂きましたが、困窮ベトナム人の支援以外に、さらに帰国困難なベトナム人妊婦さんの相談と、短期滞在の無保険者の医療相談ケースが拡大している。日越両国におけるコロナ禍の影響から航空便の確保や帰国後の帰宅の目途が立たなくなったことから、変化に対応しうる事業計画への更新検討を、現場の声を確認しながら実施をしていく予定。命を守る支援を最優先していきたいと考えております。また、港区と連携をし、ワクチン接種券のない者に対しワクチン接種も推奨している。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
困窮ベトナム人に対し、一時的に保護をして、キャリア支援・日本語支援・生活・生活費の支援。日本国内で再出発ができる環境を整え、在留外国人が再び活躍できる環境を整える。	・2021年5月より5ヶ月間で、帰国希望者を含め保護をした人数は延152名です。（※昨年度から保護をした人数延400名）・キャリア支援152名・生活支援152名・日本語教室参加者数は4,500名延名です・授業開会回数220回・マッチング支援123名・緊急保護支援6名（裁判所・警察・弁護士・市区町村行政より依頼により保護ケース）・医療支援一妊婦・出産・妊婦帰国支援（妊婦保護3名・出産支援5名・妊婦帰国支援3名・妊婦支援アドバイス10名）・精神的な不安定者の支援（統合失調症6名・躁鬱1名）

活動	進捗状況	概要
・困窮ベトナム人保護支援 ・日本語支援 ・マッチング支援 ・医療支援 ・妊娠出産支援 ・帰国支援		・昨年度に引き続き、コロナ禍困窮ベトナム人は増加。法務省の特例措置で在留資格と資格外活動が付与されたことにより、保護をする対象者も変化している。従来の技能実習生・留学生以外に、長年失踪状態だったベトナムの若者たちが、コロナ禍資格外活動を付与された事から、マッチング支援を求める若者が急増した。厚生労働省の指導の元、監視団体・派遣会社・登録支援機関と連携し対応している。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
団体当初、想定をしていた目標とする状態は、コロナ禍帰国困難な困窮ベトナム人の若者の再出発支援である。帰国困難な状態が長期化する中、困窮ベトナム人の保護・生活支援・キャリア支援・日本語の支援は勿論のこと、帰国困難な状況下の中、精神的に不安定になった若者たち・妊婦の保護、医療支援が増加し支援の枠を拡大している。その背景は、ベトナム側のコロナ感染拡大・死者数の増加やベトナムへの入国制限・ロックダウンによって、自宅から一步も出れない状況や、仕事がない、医療支援がない、ワクチンクーポンが届かない状況を聞かされた若者たちは、日本に残り再出発することを選ぶものが増加した。また先月、有名なベトナムの歌手がコロナで亡くなり、コロナに対し、さらに不安を感じているものが増えた。不安を取り除くためにも、まずはワクチンを接種することを推奨している。ワクチンクーポンを保持していない人にも手配を行っている。あっという間に5ヶ月が過ぎましたが、困窮するベトナム人の背景は少しずつ変化中、最善の支援を行う必要があると考えている。

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
	管理的経費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
合計		¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
補足説明		無し				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>従来の支援の他に、今年度の支援で増えたのは医療支援である。コロナ禍、帰国困難な状況に加え、ベトナム側のコロナ感染の拡大の変化により、帰国を躊躇する妊婦さんが増加した。出産・キャリア支援・住居の確保・保育園の確保・地元の行政との連携を行う事により、妊婦さんも従来通りの職場に復帰したり、キャリア支援が円滑に行われている場合もある。キャリア支援が難航する場合は、当会で保護をしながらの支援となる。また、精神的に追い込まれた若者たちに対し、一時的に心身を休ませることが重要である。それは、お寺なのか、自然なのか、仲間なのか、病院なのか、時間をかけて見守り支援方法を見極める必要があるため時間を要することもある。連携が必要な時は専門家に相談をして対応する。</p>

VII. その他

自由記述
<p>コロナ禍、法務省の帰国困難者の在留資格の緩和により、「短期滞在」での在留資格のベトナムの若者が増えました。短期滞在のベトナムの若者達は、体調を崩しても保険証を持っていないことを不安に（高額医療費の請求）、ギリギリまで我慢をして救急車で運ばれ、SOSが来るケースが増えてます。また、コロナ禍、犯罪に巻き込まれたベトナムの若者達からSOSもは激増した。家畜強盗、窃盗、強盗殺人、万引き、パスポート、在留カード、キャッシュカード転売、また、最近では携帯電話契約詐欺が横行し、騙されるベトナムの若者が増えて、メディアや警視庁と連携し、捜査協力も行っている。ベトナムの若者達が犯罪に巻き込まれないように、注意喚起は必要と考えている。</p>

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	<ul style="list-style-type: none"> 産経新聞4月14日（偽造在留カード簡単入手）・「映画」海辺の彼女たち（映画・アドバイザー） TBS5月16日（困窮就職難コロナ禍の留学生）・毎日新聞5月19日（KOKORO） NHK5月23日目撃にっぽん『母と子の別れ〜この国で働くために』・関西テレビ9月16日報道ランナー 毎日新聞：全国のベトナム人相談機関『日越ともいき支援会』2021年 TBS：コロナの影響で解雇された実習生JACAなど研修など支援 ・ABEBAヒルズ：行き場を失った外国人達の支援 日経新聞：外国人支援の強化を
広報制作物等	無	
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	